

(大阪府泉佐野市)
企業版ふるさと納税を活用した防災の取組み

泉佐野市成長戦略室

泉佐野市の紹介

- 大阪府南部の泉南地域に位置し、人口約10万人を抱えます。古くから、商業・工業・農業・漁業の盛んなまちとして発展してきました。1994年の「関西国際空港」開港により、現在では、商業・サービス業が盛んなまちでもあります。
- 一方、2009年～2014年まで「財政健全化団体」に転落し、脱却した今もなお、1,000億円近い借金を抱えるなど、厳しい財政状況が続いています。

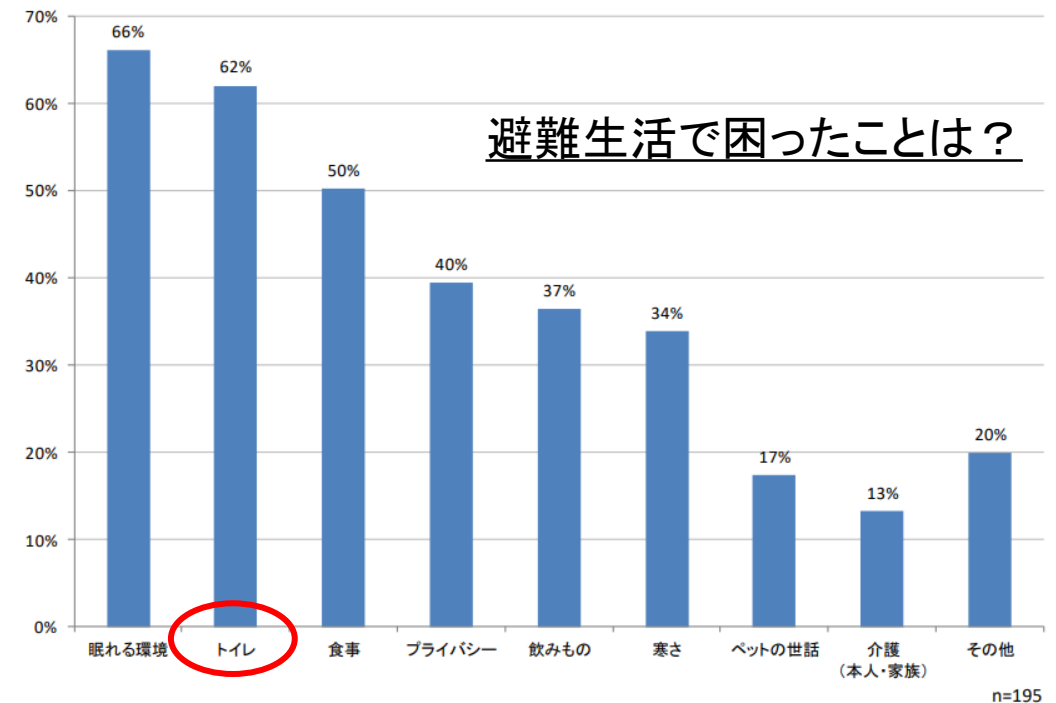


■ 面積・人口等

面積	56.51平方キロメートル
人口	100,131人（令和2年国勢調査）
世帯数	43,864世帯
特産品	泉州タオル（全国シェア42%）、ワタリガニ、玉ねぎ、水なす、キャベツ、地酒等
主要産業	金属製品・一般機械・輸送機械製造業、観光業、繊維・衣服製造業、農林水産業

事業の背景

- 泉佐野市は、南海トラフ巨大地震をはじめ、風水害や土砂災害など、多くの災害リスクを抱えています。2018年には、台風21号の発生により、甚大な被害を受けました。
- 過去に発生した大規模災害では、停電、断水により避難所の水洗トイレが使用できず、衛生面や健康面において大きな問題となりました。

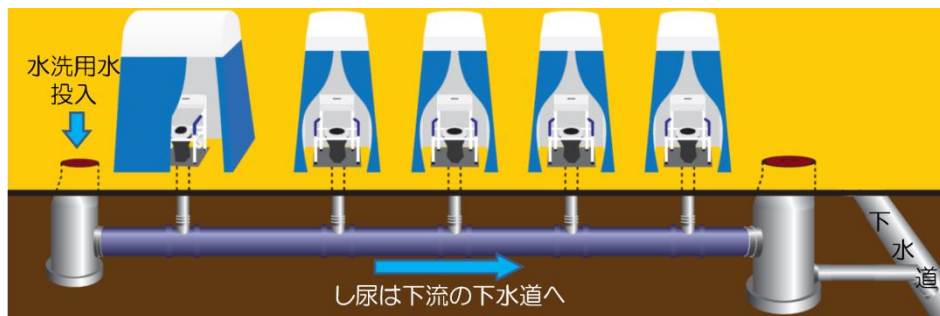


出典：内閣府 避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン
https://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo_toilet_guideline.pdf

出典：日本トイレ研究所
「平成28年熊本地震 避難所生活におけるトイレに関するアンケート」
<https://www.toilet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2018/04/survey180410.pdf>

過去の災害の教訓を生かし、公共下水道の污水管が整備され、マンホールトイレが設置可能な市内20箇所の避難所等にマンホールトイレを設置します。また、移動設置型の災害用トイレトレーラーを導入することで、その他の避難所等についても、衛生的かつ機能性の高いトイレ環境を整えます。

マンホールトイレの設置



災害用トイレトレーラーの導入



多様な連携による防災の取組み（一例）

市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、地域や他自治体などと幅広く連携し、防災に関する様々な施策を総合的かつ計画的に進め、強靱なまちづくりを進めております。



災害時支援協定



災害時における宿泊の提供に関する協定



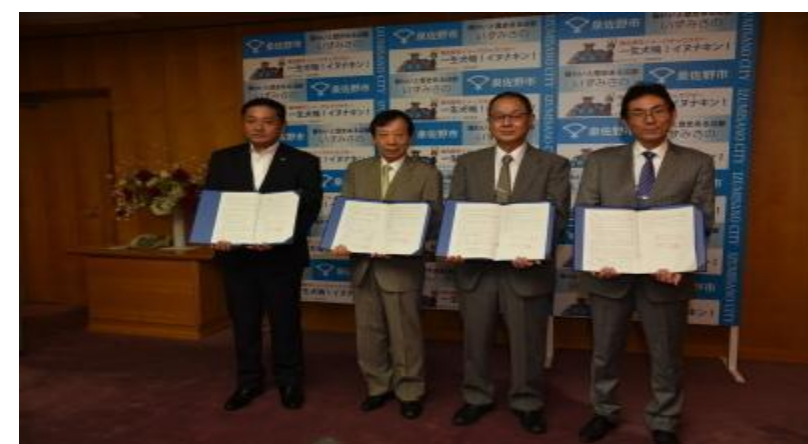
災害時における福祉避難所施設利用協定



災害時相互応援に関する協定（一例）



災害時の緊急放送における協定



災害時の医療救護に関する協定

持続的な官民連携

泉佐野市では、官民連携による社会課題の解決や地方創生の推進を重視しています。企業版ふるさと納税についても、寄附企業と自治体という関係に留まらず、寄附を契機として、様々な分野で持続的に連携させていただきたく存じます。



泉佐野市では、企業版ふるさと納税を活用した社会課題の解決や地方創生の推進をめざし、防災関連事業の他、子どもの貧困対策や教育、福祉支援など様々な事業に取り組んでいます。これらの事業は、泉佐野市だけではなく、日本社会全体の社会課題の解決に寄与するものと考えております。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



泉佐野市

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp